

1 教科について

国 語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

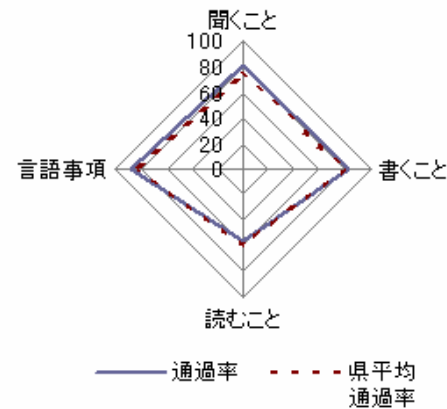
- ①「書くこと」の領域では「文章全体の構成」と「意見を支える適切な理由を書くこと」の通過率が低い。
- ②「言語事項」で、「文語のきまり」の通過率が低い。
- ③◇「読む」の領域の「段落相互の関係の把握」の通過率が低い。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

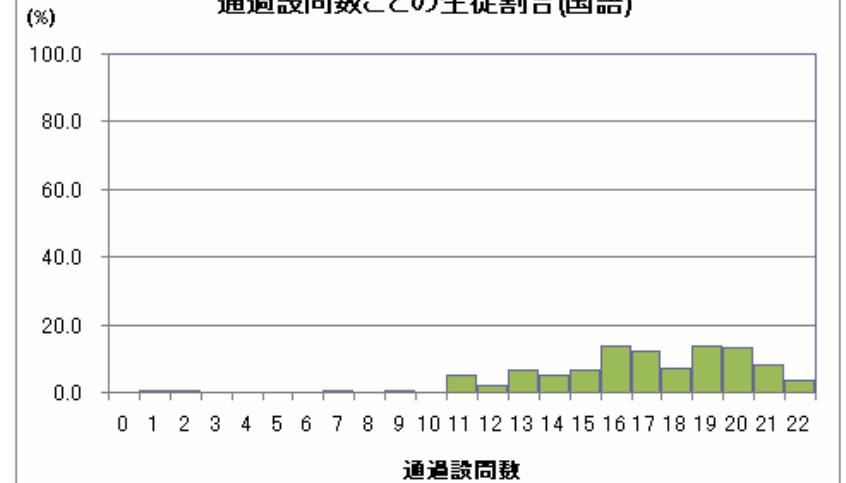
- ①授業の後に毎時間、その授業で学んだことを自分のことばでまとめたり、発問に対して自分の考えを書く欄を設けて頻繁に文章を書く機会を設定したりした。また、定期試験では毎回200字程度の様々な形式の作文を出題している。さらに、授業の中で文章の型を与えて意見文の書き方や感想文の書き方などを指導した。
- ②「文語」については古典の単元以外でも適宜取りあげて扱った。
- ③形式段落を意識させ、段落の役割、文と文の接続語に注目させるなど内容の把握の学習を行った。
- ④国語科だけではなく、道徳や総合的な学習の甚間でも自分の考えをまとめたり、書かせたりする取組みをすすめていく。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 76.3% 県平均 73.2%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの生徒割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査  
◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・「読むこと」の領域で、文学の読み取りで「登場人物の心情の把握」の通過率(30.4%)が低い。
- ◎・・・「読むこと」の領域で、「文脈上の語句の理解」の通過率(37.7%)が低い。
- ◎・・・「読むこと」の領域で、説明的な文章の読み取りでは「文章の展開の把握」の通過率(42.0%)が低い。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①授業や定期試験において、登場人物の心情を読み取る発問を積極的に設定し、その都度、根拠となる言葉を明確にする。
- ②「文脈上の語句」についても、授業や定期試験、家庭学習などで問題に取り組む機会を増やす。
- ③説明的な文章の「文章の展開の把握」については、意味のまとまりごとに文章全体における役割(「問い」「具体例」「答え」など)をとらえさせる学習を繰り返す。

来年度の目標値

- 「登場人物の心情の把握」について、県平均を上回る。
- 「文脈上の語句の理解」について、県平均を上回る。

# 指導方法等の改善計画について

## 数 学

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

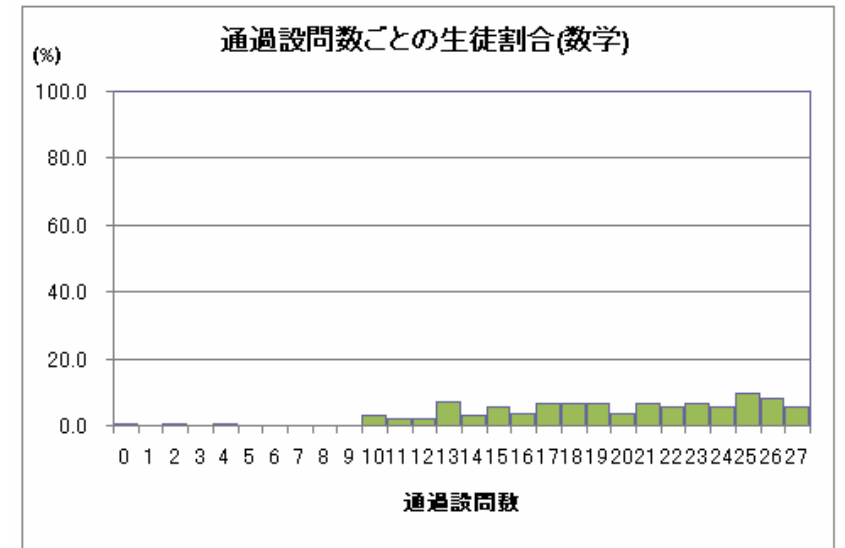
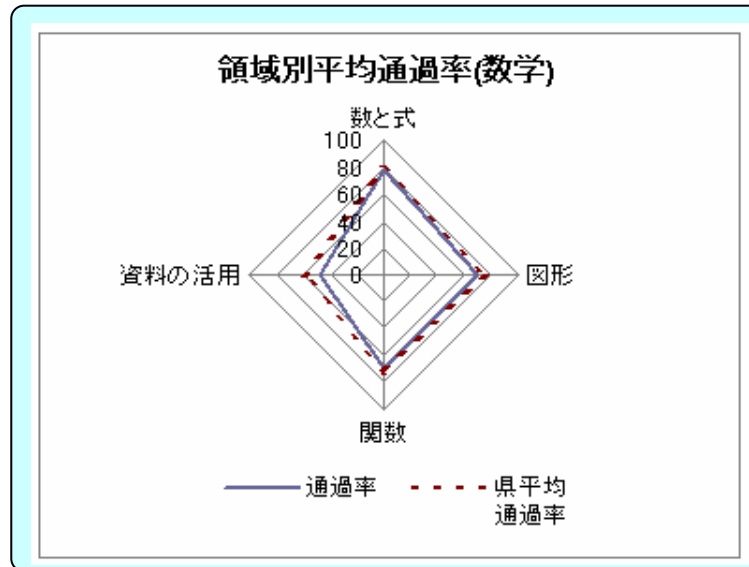
### 昨年度の課題

- ①扇がたや円すいの面積や体積問題ができていない。公式の意味を理解しておらず、丸暗記の形の指導に偏重した原因も考えられる。
- ②グラフの考察力がなく、縦軸や横軸の数量が何を表しているか理解できていない。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①授業開始時に、1年次の復習プリントをもとに、復習を繰り返しおこなった。
- ②面積や体積を求める問題は、例年通過率が低いので模型を利用しながら求める練習をした。
- ③ともなって変わる数量の関係を式やグラフに表していけるように、ものの見方や考え方を育てていった。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **71.9 %** 県平均 **74.7 %**



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・相対度数の意味を理解せず、定着していない。(通過率 本校 13.8/県 36.6)
- ◎・・・文章から整数についての一次方程式を作成できなかった。(通過率 本校 48.6/県 62.9)
- ◎・・・立体の辺に対する垂直な面を見つけることができなかった。(通過率 本校 40.6/県 50.5)

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①生活に密着した資料を活用し、興味や関心を持たせ、資料を整理させる中で、相対度数の意味を理解させ、定着させていく。
- ②整数についての性質を考えさせる中で、規則性・法則性を見いださせ、1次方程式の作成に利用できるようにする。
- ③立体の展開図をかかせ、実際に立体模型を作成させる中で、辺や面の位置関係をとらえることができるようにする。

### 来年度の目標値

○「数と式」の領域は80ポイント以上、「図形」「関数」の領域は75ポイント以上、「資料の活用」の領域は60ポイント以上をめざす。

# 指導方法等の改善計画について

## 英語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

### 昨年度の課題

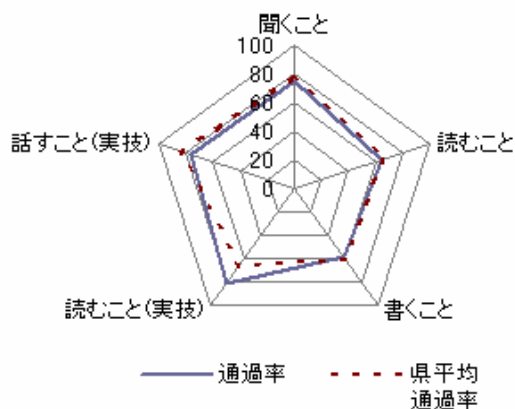
- ①「書くこと」の領域において、yes-no 疑問文や疑問詞で始まる疑問文を場面に応じて、正確に書くことができない生徒が多い。
- ②「書くこと」の領域において、現在形を用いて自分のことについて内容を考えて書くことの通過率が低い。
- ③「読むこと」の領域において、話の流れをつかみながら的確に読み取ることが苦手な生徒が多い。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ①授業はじめの会話の練習をする際に、yes-no 疑問文や疑問詞で始まる疑問文の応答を多くすることによって、疑問文の作り方に慣れさせる。
- ②授業中に現在形や過去形など既習の文型を使って、自分のことについて表現する機会を数多く設け、場面に依りて英文を書かせるなどの指導を行う。また、単元テストや小テストを実施する。
- ③まとまった英文を読むときに、代名詞や接続詞に留意して読むように意識づけをする。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **67.9 %** 県平均 **71.9 %**

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・「読むこと」の領域において基本的な文の決まりを理解して文を読むことができていない生徒が多い。
- ◎・・・「読むこと」の領域において話の内容を把握しながら読むことができていない生徒が多い。
- ◎・・・「書くこと」の領域において場面に応じて自分の考えや気持ちが相手に伝わるように簡単な文を書くことが苦手な生徒が多い。

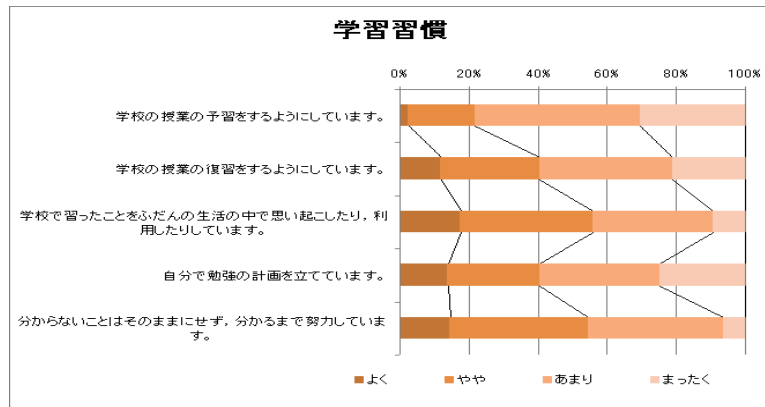
### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①基本的ルールに基づく英文の構造を理解させる。
  - ・単語・熟語・慣用表現・基本例文の繰り返し練習を行う。
  - ・単語テストや文法小テストなどを繰り返し行い、基礎学力の定着を図る。
  - ・疑問詞などを使ったQ&Aを繰り返し行い、意味や用法を身につけさせる。
- ②文章の内容理解を図る。
  - ・読みとる際の視点を与えるなどして繰り返し読ませる。
  - ・読み物教材をした後で、読みテストを行う。
- ③既習文型を用いた自己表現の機会を設ける。

### 来年度の目標値

○県平均よりも2ポイント以上上回る。今年度の数値よりも6ポイント以上上回る。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査, 生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙, 生徒質問紙)

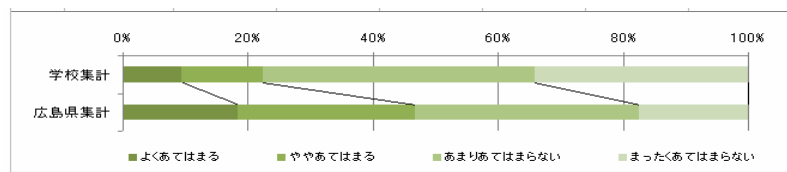


(1) 生活・学習 改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎家庭学習 (予習・復習) の習慣がついていない。	① 各教科で月に2回以上、予習を取り入れた授業展開を行い、家庭学習の意義を理解させる。 ② 教科担当と担任が連携しやりきらせる指導を行う。 ③ 家庭学習のしおりに作成し、家庭学習の仕方の指導をするとともに家庭との連携も深める。

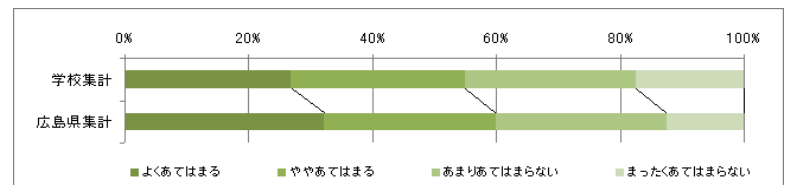
来年度の目標値	・予習・復習ともに今年度より10%増を目指す。(予習で35%、復習で50%)
---------	--

(2) 教科

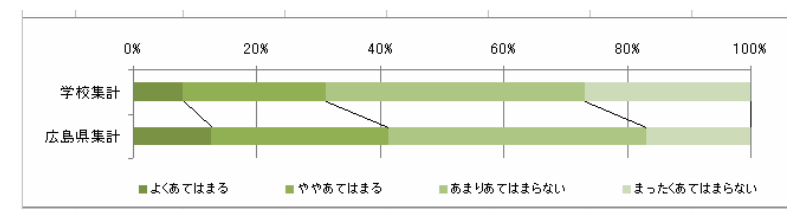
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



数学の授業では、おうぎ形の問題を考えるとときには、いつももとの円をもとに考えています。



英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べるという習慣が20%程度で、身につけていないと言える。実際の学校生活や授業中においても分からない言葉や漢字を教員や友人にたずねることが多い。	◎辞書を使う習慣が身につけていない原因として、学校に辞書を置かせていないこと、国語科の授業で辞書を活用させる機会が少ないことが考えられる。よって、まずは学校に辞書を持って来させ、授業で活用することを定着させる取り組みを確実に進行。
数学	◎学校で宿題をするなど家庭学習の習慣がついてなかったり、家庭学習の時間も少ない生徒もいる。宿題だけでなく、復習や予習などの自主学習に取り組むことができる家庭学習の習慣をつける。	◎宿題や復習に取り組む授業で学習したことを確認できたり定着できることにより学習意欲を高める。また、予習に取り組む授業で学習する内容を理解しやすいことにより学習意欲を高める。宿題、復習、予習に取り組むことができる家庭学習の習慣をつける。
英語	◎生徒の回答で「英語の勉強は好きだ」45.7%なのに対して「授業がよくわかる」65.9%で生徒の興味関心が比較的低く、苦手意識を持っていることが伺える。 また「授業では自分の考えや気持ちなどを英語で話しています」31.2%、「分からない単語や熟語は辞書を使って調べています」37.0%で、県平均通過率を下回っている。	◎新出文型の定着を図るため、それらを使い自己表現をさせ繰り返し練習問題にあたる。それを発表させることで自信をつけさせる。 ◎特に読み物やDialogでは内容を理解しながら読む指導を行う。 ◎授業でも時には辞書を活用し、辞書に慣れさせる。 ◎単語テストやリーディングテストを継続して行う。 ◎家庭学習 (毎勉ノートや問題集) で単語・熟語などの基本的表現の定着を図る。

来年度の目標値	・各教科の重点課題が県平均を越える。
---------	--------------------

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
	Plan		Do			Check		検証	Action		Check
	結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施						次年度の計画				
【教科】											
国語				単元ごとのテスト・辞書の活用 詩に込められた作者の思いを読み取る	主人公の行動と心情との関わりについて読み取り						
				授業開始時の復習プリント及び毎時間の宿題プリント	漢字毎日勉強ノート						
数学		小テスト	小テスト	小テスト	小テスト	小テスト	小テスト	基礎基本調査再実施			
英語		単語テスト	音読テスト	リスニングテスト	文法確認	文法確認	文法確認	文法まとめ、練習			
		文法確認	文法確認	文法確認	文法確認テスト	文法確認	文法確認	文法確認			
			英語毎勉ノート								
【生活・学習】	予習を取り入れた授業を各教科月に2つ以上行う	学習習慣の定着についての校内研修	教育相談面接	全クラス公開授業	家庭連携・懇談 アンケート実施	検証とまとめ	次年度の計画立案				